



シルバー所沢

第138号

2017年4月1日

つどいの樹

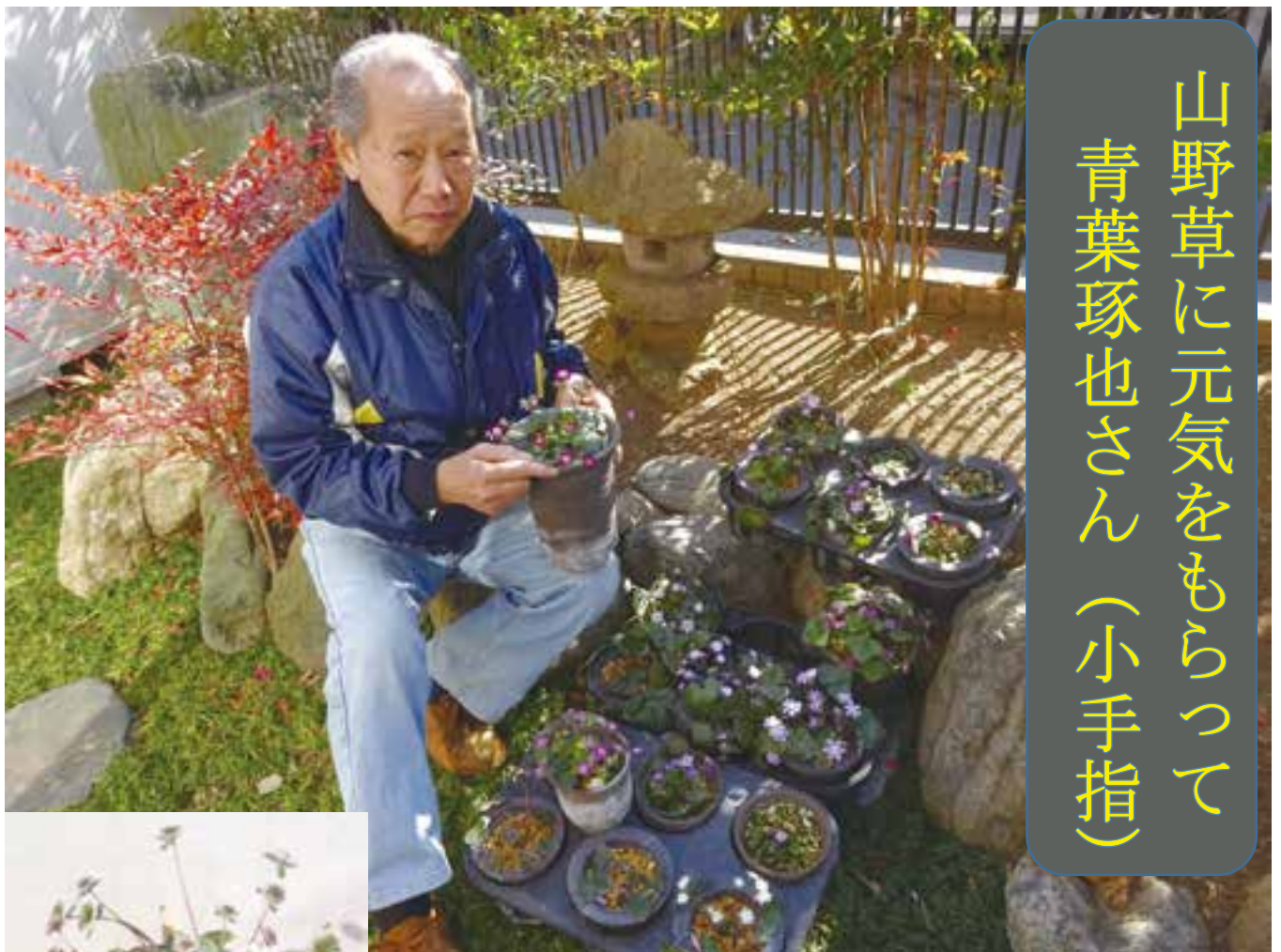
発行：公益社団法人 所沢市シルバー人材センター/広報委員会
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2

☎ 04-2928-8695 / FAX 04-2924-0630

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

▽もくじ▽

- 2頁 事務所移転問題
29年度スローガン
安全標語募集します
- 3頁 4か所で安全パトロール
- 4頁 出張就業相談会
- 5頁 公開講演会
- 6頁 サークル訪問29
囲碁サロン一期一会
歴史愛好会
- 7頁 お仕事拝見
健康一口メモ
- 8頁 シルバー豆宣伝他



山野草に元気をもらって 青葉琢也さん（小手指）



県知事賞を受賞した
オオミスミソウ

私が生まれたのは福島県相馬市です。そう、6年前の東日本大震災で大きな被害を受けた町です。帰省するたび、変わり果てた故郷の姿を受け入れられず、何もしたくない時期が続きました。

その頃、シルバーの仕事でも新しく始まった駐輪場管理に就業したんですが、気苦労が多くて、30年以上続けてきた趣味の山野草育ても手入れがままならず「もう諦めよう」と思ったこともありました。

でもね、けなげに生きている小さな花が「頑張ろうよ」と語りかけているようで、続けられたんです。

今年は数ある山野草の中から雪割草を育てたんだけど、春の展示会で最高の埼玉県知事賞に。喜寿も近いし、元気出さなきゃ。

（聞き書き・菰田、写真・石井）

旧庁舎の2階で

業務を続けます

事務所移転問題

所沢シルバーの事務所は当面、現在と同じ旧庁舎2階で業務を続けることになりました。

建物の老朽化を受けて4月以降、旧庁舎の2、4、5階は閉鎖されることになり、事務所は1階に移す計画でした。しかし1〜3階の空調・電気設備が同一系統であることなど

から、市の管財課から2階の使用も認められたためです。事務所移転には100万円近い経費がかかると思われ、所沢シルバーには朗報となりました。

しかし、来年3月末には旧庁舎全館が完全に閉鎖されるため、事務所の移転先探しが急務であることは変わりありません。市の支援を仰ぎながら、理事会と事務局で検討を続けています。

各種教室の一部は休講に

一方、独自事業の各種教室のうち旧庁舎を利用していた教室の多くは中断を余儀なくされました。市が、不特定多数の一般市民の旧庁舎立ち入りを認めていないためです。

学習、書道、英会話、そろばんなどの教室は、受講生や保護者の方に事情を説明し、4月以降は休講となっています。ただ、受講生の自宅でいう個人別教育指導（家庭教師）やシル

バー会員を対象にしたパソコン教室、手づくり手芸教室は継続しています。

営農などを含むシルバーの独自事業は年間1000万円を超える収入を得ています。その半分以上は各種教室が占めています。休講になった教室の早期再開に向けて、知恵を絞っているところです。（事務局）

理事、役員が一堂に

初の合同委員会

所沢シルバーの理事と役員が一堂に集まる初の合同委員会が1月13日（金）、プロペ通りの日東会館で開かれました。役員の意思疎通を図り、各委員会が連携してさまざまな課題に取り組むことを目指して企画された。対象者49名のうち39名が出席しました。

森澤弘理事長が今年の3大事業として①会員増強②就業開拓③安全就業——の実現に取り組むよう訴え、各委員会から活動状況などが報告されました。委員会の後は会費制の懇談会に移り、普段は顔を合わせることの少ない委員が意見交換。話の輪が広がりました。（広報委員会）

忘れるな、

慣れと油断が危険呼ぶ

— 前回理事長賞・井本順一さん

「安全標語」募集します

「安全は全てに優先する」——安全就業、事故ゼロは所沢市シルバー人材センターの最重要課題です。安全推進委員会では会員の安全意識の向上を目的に、7月の「全国安全・適正就業強化月間」に合わせ「安全標語」を募集します。

理事長賞の最優秀作品は、センター内や就業先に掲示されます。また安全統括責任者賞などの優秀作品を含む入選者の皆さんを、7月3日（月）に開かれる所沢シルバーの安全大会で表彰し記念品を贈ります。多数のご応募をお待ちします。

◆テーマ ①安全就業 ②健康管理

◆募集期間 4月5日（水）

～ 同28日（金）

◆提出先 事務局受付の応募箱へ
応募要領の詳細は折り込みの「安全ニュース」をご覧ください。

（安全推進委員会）

危険作業ストップ！

安全パトロールを実施

シルバー会員が就業する現場で安全が確保されているかを確認する安全パトロールを3月10日(金)、所沢市内4カ所で行いました。

「安全は全てに優先する」はシルバーの課題です。しかし、ちょっとした不注意からの事故は絶えず、平成28年度も2月末までに傷害事故が9件、モノを壊すなどの賠償事故が7件起きています。このため、これまで7月の「全国安全・適正就業強化月間」に合わせて行うことが多かった安全パトロールを、随時、必要に応じて実施することにし、浅上勝敏委員長ら安全推進委員会の委員や小山一事務局長が2班に分かれて就業現場に向かいました。

重大事故が潜む植木職

植木の剪定は、はしごや脚立を使い木に登って作業することが多く、万一、事故になれば大けがをする危険性があります。パトロールは久米と上安松の住宅で、植木職計6名の仕事ぶりをチェックしました。



植木職は職群班として組織され、日頃から研修会を開くなど安全意識は高いとされています。今回のパトロール先も、切り落とされた枝をきちんと片付け、道路には通行人の安全のためのコーンを置くなど、現場は整理整頓されていました。

しかし、この日に面談した6名のほとんどがヒヤリハットを経験しており、はしごや脚立をしつかり固定するよう、確認し合いました。

お客様の安全を第一に

シルバー会員はスーパードなどのカートやカゴの整理を請け負っています。

す。ところが最近、片付け中のカートを買取物客に接触させてけがを負わせる事故が3件続きました。そこで市内の大型スーパーでも安全パトロールを実施。

就業中の会員は、やはり事故を意識しており、大量のカートやカゴを無理して一度で運ばないよう「お客様の安全第一」を、また高齢で動きが緩慢にならざるを得ないお客も多く、近くを通る時には「カートが通ります」と声掛けすることを、それぞれ確認しました。

場内交通事故に神経を

広大な所沢総合食品地方卸売市場では8名の会員が交代で構内清掃に当たっています。各所のゴミを軽トラックで回収し分別、業者に引き渡す仕事ですが、作業場所は奇麗に整頓されていました。

最も神経を使うのは、構内を走り回る大型トラックやフォークリフトの動き。ゴミ回収の軽トラに注意を払う車は少なく、事故を起こさないよう四方に目配りするそうです。また大量の生ゴミが出るため、夏場は集めたゴミからあつという間にムシ

が発生するとのことで、衛生面での気苦労もあるようです。

これからは構内の草刈りも始まり刈払機の出番。安全な操作をお願いしました。(安全推進委員会)

毎月初めは安全週間

安全就業ハンドブックと健康カードを活用してね

所沢シルバーは平成29年度から、毎月1日から7日間を安全週間と定め事故の撲滅を目指します。

会員皆さんに配られている「安全就業ハンドブック」と「健康カード」を、就業中もきちんと携帯しているか、就業前にちゃんと読んでいるかを確認し、事故防止の意識を高めるのが目的です。

期間中は事務局や出張所などに「安全週間」の横断幕を掲示し、安全就業ハンドブックと健康カードの携帯、活用を促すための看板を設置します。「安全は自ら守る」心構えが大切ですが、安全週間も一つのきっかけとして、事故防止への取り組みをお願いします。なお、安全就業ハンドブック、健康カードをお持ちでない方は、センター事務局でお渡しします。(安全推進委員会)

出張就業相談会第2弾

小手指地区で10名参加

就業していない小手指地区の会員から話を聞く出張就業相談会が2月21日(火)、小手指まちづくりセンターで開かれました。昨年11月に三ヶ島地区で初めて開催されたのに続く第2弾で、就業推進委員会の全委員6名と高柳倫子副理事長、事務局の池田壮吾主事が出向きました。

参加者は男性6名、女性4名の計10名と少なかつたものの、その分たつぷり時間をかけての相談会に。中には「清掃の仕事は苦手で」と話す会員に委員が自身の体験談を伝え、興味を示すようになった例も。また



「ちょこつとお手伝い」の地域サポート事業には半数以上の方が関心を示し、生活支援職群班への登録を勧めました。

就業推進委員会では残る9地区でも出張相談会を順次開催、来年2月までに一巡する予定です。対象の会員にはセンターから案内のハガキを出します。就業に向けて、ぜひこの機会も活用してください。

(就業推進委員会)

シルバー仲間を増やそう

紹介カードの利用を

つどいの樹1月号(137号)にハガキ大の「紹介カード」Ⅱ写真Ⅱが挟み込まれていたのに気付かれたでしょうか。これはシルバー入会を希望する方を紹介していただくためのカードです。

会員増強は全国シルバーの大きな取り組みです。所沢シルバーでも市民フェスティバルや公開講演会などを通じてシルバー活動をPRしていますが、さらに積極的に会員を増やそうと紹介カードを作りました。会員皆さんの周囲で、シルバーに関心のある方、仲間づくりがしたい、地

域社会に貢献したいと考えている方がいたら、紹介カードを活用してください。

ください。



カード記入欄に必要事項を書き、入会を希望される方が直接、事務局に提出してください。その場で入会に必要な書類をお渡しし、入会説明会の日程をお知らせします。

つどいの樹1月号での広報が間に合わず、ぶつつけ本番でスタートした紹介カードですが、既に20名を超える紹介がありました。入会希望者がいるけれど紹介カードをなくしてしまった方、もつと紹介カードが必要だという方は、事務局でお渡します。会員皆様さんのご協力をお願いします。

(会員活性委員会)

もつと楽しく、もつと元気に

シルバー女子会です

「女性が活躍する社会に」との掛け声が聞こえます。しかし、所沢シ

ルバーでも女性会員の割合は3割ラインを行ったり来たりです。

そこで、女性会員が「もつと元氣よく、楽しいシルバーライフ」を送る活動の場として「シルバー女子会」(仮称)をスタートさせることになりました。仕事だけでなく趣味や学び、健康、グルメなど多彩な切り口での交流を考えています。

当面は各地区で、女性会員に参加を呼びかけて小会議を開き、具体的な活動内容を検討。そこで出された意見を集約し、今年夏頃のスタートを目指しています。関心のある方、参加したいという方は事務局にご連絡ください。(会員活性委員会)

◇やなせ福祉祭りでPR

柳瀬地区の「やなせ福祉祭り」が3月5日(日)、柳瀬まちづくりセンターで開催され、所沢シルバーもイベント班を中心に参加しました。

シルバー活動を紹介するDVDを流したり、会員募集や「ちょこつとお手伝い」の生活支援事業のチラシを配るなどしてシルバーをPR。入会に関心のある人や「シルバーに仕事を頼もうかな」と話す人もいて、会員が対応しました。

第5回公開講演会

「へー、そうなんだ」

TV黄金時代の裏話

所沢シルバーの第5回公開講演会が1月19日（木）、中央公民館で開かれました。冬晴れの厳しい寒さの中、200名近くが会場を埋めました。今回は一般市民の参加が会員を上回り、運営に当たった総務委員会は「初めてでは」とビックリ。

第1部は「TV黄金時代・よもやま話」。大手広告代理店、博報堂で長年テレビやラジオ番組の企画に携わった下谷一廣さんが、その裏話やコ

マシーナルの制作秘話を、映像を交えて紹介しました。特に駆け出し時代に携わった「桂小金治アフタヌーンショー」については、小金治さんの人柄や、小金治さんに教えられたちよつと色っぽい江戸小話や都々逸も披露されました。

また、制作費が豊富だった「いい時代」のアフリカ金環食撮影に「今では考えられない」ほどの取材班を送り出した経緯を、美しいスライドとともに説明。CM作りではハリソン・フォードなど海外の大物スターとの出演交渉の裏話を紹介し「お酒のCMでは、それを見た人が『CMのためにアルコール中毒になった』と訴えられたらどうするのか」ということも話し合うそうです。

武蔵野市のシルバー会員でもある下谷さんの講演は、笑いを交えながら1時間半にも及びました。

笑いヨガで

身も心も軽く

第2部は会場も一緒になって「笑いヨガ」を体験しました。講師は各地の健康の集いや老人会、さまざまなイベントで活躍している所沢千笑（本名・河原千恵子）さん。



(渡邊)

ヨガ発祥の地・インドで新しく生まれた笑いヨガは、体の免疫力を高め認知症やうつ病などの防止にも効果があり、今や世界中に広まっていると力説。「笑いたくなくても笑って!」と、ステージを所狭しと動く千笑さんの指導で、会場も総立ちになって「ワッハッハー」。

笑いの体操と呼吸法を組み合わせ、1時間の実践の後は、皆さん笑顔で体も軽くなっているようでした。



催しに工夫を凝らし

11地区懇談会が終了

課題は参加率向上

昨年9月の山口地区からスタートした平成28年度の地区懇談会は、2月1日（水）の柳瀬地区を最後に一巡しました。各地区とも班長会議などでさまざまな催しを企画し、出席者を楽しませてくれました。

地区懇は森澤弘理事長や事務局職員が出席し、会員とシルバーを取り巻く現状を話し合い、意見交換する大事な機会です。同時に、同じ地区に住む会員同士が親睦を深め、シルバー活動を活性化させる役目もあります。山口地区ではビンゴゲームで盛り上がり、新所沢では和太鼓演奏や民謡、富岡では地元の落語研究会による落語も披露されました。三ヶ島ではマジックショーも。

しかし、残念ながら参加率には課題が。新所沢東では31・7%の会員が出席しましたが、6地区では10%台でした。どうすれば会員が参加したくなる地区懇にできるか、検討を続けていきます。

(地区活動委員会)

悠和会サークル訪問29



無限の変化を楽しむ

―囲碁サロン一期一会―

会長・猿渡眞喜夫

心と頭の若返りを目指した囲碁サークルです。定例対局日には10名を超す方が白と黒の石音を楽しみ、和やかな雰囲気です。

囲碁は縦横19路、361目の地所を取り合うゲームです。大局観が問われる序盤、布石、構想と勝負勘が試される中盤、そして一手で勝敗の

行方が入れ替わる終盤の攻防など、全ての局面でバランス感覚と集中力が求められます。

勝負だけでなく、盤面に繰り広げられる無限の変化

に人それぞれの世界観、価値観、美意識が投影され、しばしば人生や事業にたとえられる奥深さがあります。

会が発足して3年、会員は27名になりました。毎月の例会では会員の

誕生会を兼ねた親睦会なども開催。秩父両神荘での囲碁合宿や航空公園

での青空対局も行っています。初心者の方も大歓迎です。

※定例対局日 第2、第4水曜

13時から約4時間

※会場 老人憩の家とこ荘

※入会金 1500円

ゆるり話そう ふるさと

―歴史愛好会―

会長・今野省造

「ふるさとの歴史」や「ふるさと自慢」の発表、紹介を主なテーマに毎月1回、例会を開いています。発足後しばらくはテーマや運営方法などの検討を続け、昨年から10名ほどのメンバーで本格的に活動を始めました。

トランプ現象に象徴される昨今のニュースが、世相に不安感や緊迫感の影を落とす中、例会では「ふるさと」とをつかかき、さまざまな話題が提供されます。時には食事に

場所を移し、メンバーの意見や感想が交わされています。

会では例会での準備を経て、年数回の発表会も開催します。第1回は4月に「鹿児島県垂水市」をテーマに、同市出身の会員が「ふるさと自慢」をする予定です。



ご自身の「ふるさとの物語」をご紹介いただける方、世界史や日本史、史跡、芸能など歴史に関心のある方のご入会をお待ちしています。

※例会 第3土曜13時～15時

※場所 中央公民館など

※年会費 1000円

◎両サークルともお問い合わせは

悠和会事務局へ

☎04・2928・8695

早春の都心を楽しむ 日帰りバス旅行



浜離宮恩賜庭園の散策

悠和会の恒例になった日帰りバス旅行、3月9日(木)は52名が参加して都心巡りを楽しみました。

まずは人気の築地場外市場へ。買い物を楽しむ人、試食巡りで小腹を満たす人とさまざま。続いて浜離宮恩賜庭園の散策。絶好の天気恵まれて一足早い春を満喫しました。

銀座4丁目の和食店で豪華な昼食の後には銀座散策タイムでしたが、多くの方が歌舞伎座地下の木挽町広場に向かい、江戸の粋を伝える小物店やお菓子屋を冷やかしていました。

最後に愛宕のNHK放送博物館を見学し帰路に就きましたが、初めて会った人同士が「また一緒に参加しましょう」と約束し合うなど、親睦を深めることができました。

※写真は金子久男さん(柳瀬)

(悠和会事務局)

膨大な商品の梱包

「間違えたら大変」

ネット通販を支えて

広い部屋の天井近くまで整然と積み上げられた段ボール箱の中は、女性用の下着がサイズや色別にぎっしり。それをお客様の注文通りに選り出し、箱詰めして梱包、発送伝票を貼り付ける仕事に、シルバーの女性会員2名が週に3日ずつ交代で就業しています。

元町のビルにあるインターネット通販の商品配送センター、TMアセット・コンサルティングを訪ねた日は田原亜井子さん

(所沢) が、スタッフの女性と一緒に作業に取り組んでいます。勤務時間は正午から2時間、150個ぐらいを荷造りするそうです。でも

水着の注文が殺到する夏の繁忙期は4日間、1日4時間になることも。スタッフの方との共同作業で



すが、500個ほどでも処理することがあるそうです。

昨年5月から就業して1年近くになる田原さんは「膨大な商品が部屋のどこにあるか、今でも戸惑うことがあります。下着の種類やサイズ、色など、お客様の注文を間違えたら大変ですから」と、神経を張り詰める2時間です。箱詰めしたらスタッフや上司のチェックを受けますし、作業上の指示もありますから、この仕事は請負ではなく派遣契約になっています。

同社の社長さんは「女性の肌に触れる商品ばかりなので、いちいち説明しなければいけない男性には任せられません。2人はよくやってくれています。シルバーに頼んで当たりでした」と、満足そうでした。

(野崎)

理事会報告

12月理事会 12月27日(火)

議案Ⅱ◆新入会員の承認。

報告Ⅱ◆各委員会の活動報告他。

1月理事会 1月31日(火)

議案Ⅱ◆新入会員の承認◆利益相反に係わる件の承認◆職員給与規定の一部改定の承認。

報告Ⅱ◆各委員会の活動報告他。

2月理事会 2月28日(火)

議案Ⅱ◆新入会員の承認◆平成29年度事業計画及び収支予算の承認。

報告Ⅱ◆各委員会の活動報告他。

健康一口メモ 37

栄養の歌でバランスよく

1、魚^{うい}いち 肉^{うい}いち 卵^{うい}いち
牛乳ひとつに 豆ひとつ
野菜は四^よさらに わかめ食べ
おやつはくだもの かぞえうた

2、栄養バランス 考えて
手足を動かし ストレッチ
寒さに負けず 風邪ひかず
健康管理を しつかりと

3、ひとりで寂しく 過ごすより
仲間と一緒に 語り合う
明るい笑顔に つつまれて
生きるよろこび わいてくる



この歌の1番はかつて、老人福祉センターのいきいき健康体操の時に「みかんの花咲く丘」の曲に合わせて、バランスのよい食事をしているか、一日を振り返るためにみんなで歌ったものです。

老人憩の家「とめの里」で体操に参加されている方が2番、3番を作詞してくださいました。
ぜひ歌いながら実行してみてください。
(保健師・西村園子)

新入会員研修会に41名

活発に意見交換も

昨年10月から今年1月までに入会した会員を中心にした研修会が3月14日(火)、旧庁舎3階会議室で開かれ、雨の中、対象会員約250名のうち41名が参加しました。

森澤弘理事長、高柳倫子副理事長がシルバーの歴史や仕事の内容などを説明、安全推進委員会の井本順一委員が「就業中だけでなく、就業先との往復の途中にも危険は潜んでいます」と安全最優先を訴えました。またシルバーの先輩として水流美智子さん(新所沢東)と江村高寿さん(所沢)が、就業のきつかけや仕事の楽しさなど、体験をもとに披露しました。最後に、参加者が自由に

意見を述べ合う懇談会を開催。就業先の見つけ方などについて意見が交わされました。(広報委員会)

ボウリング大会に45名

悠和会初の試み

悠和会初のボウリング大会が2月27日(月)、星の宮のスターレーン1階を借り切って開催され、会員45名が健康的な汗をかきました。

森澤弘

理事長の始球式でスタートした大会は、かつて実業団チームで活躍した



方、マイボウルを持ち今も定期大会で投げている方、一方で10年ぶりにボウルを手にした方など、多彩なメンバーがゲームを楽しみました。多くの参加者から「次の大会が楽しみだ」という声も。

表彰式では、福田卓爾悠和会会長が寄贈したトロフィーや、森澤理事長、高柳倫子副理事長など多くの方から寄せられた賞品が、上位成績者だけでなく「とび賞」などで贈られました。2ゲームを投げて、優勝は358点を出した福島良子さん(所沢)、2位は3点差で奥野信一さん(小手指)、3位は330点の中野照枝さん(並木)と、上位2人は女性でした。(悠和会事務局)

◇定時総会は6月7日開催

平成28年度結果報告、平成29年度

事業計画など、重要案件の審議が予定されています。総会後には懇親会も同じミューズ内の展示室で開催されます。出欠の有無、委任状の提出を忘れずに。同時に悠和会総会も開催されます。

◇会費納入の時期です

日時 6月7日(水) 13時
場所 ミューズ・マキーホール
(航空公園東口より徒歩約10分)
所沢シルバー年会費の納入時期になりました。悠和会の年会費と合わせて2000円です。就業中の会員は5月〜7月振込の配分金から差し引きます。未就業の方は事務局で支払うか、つどいの樹今月号に折り込まれた専用払込用紙をご利用ください。振込手数料は各自負担となります。ご了承ください。

シルバー豆宣伝

入会を希望する方は

市内にお住まいで60歳以上の健康で働く意欲がある方、働くことを通して社会参加することに意欲的で、センターの目的・趣旨にご賛同いただける方、まずはセンター事務局受付へおいで下さい。ご来所頂き、入会に関する書類をお受け取り下さい。その折、毎月1回実施される説明会への出席をお申し込み下さい。

「会員を募集しています!!」

○健康相談日

健康で、元気に就業していただくため、健康相談を行っています。

日時=4月13日(木)10時~12時

5月18日(木)10時~12時

6月15日(木)10時~12時

7月20日(木)10時~12時

場所=センター事務室へ

○就業相談日

就業相談で、あなたにふさわしい就業先を見つけてください。

日時=毎週水曜日14時~15時半

(祝日の場合は休み)

場所=センター・2階会議室

あとがき

「十七も七十才も一度だけ」。ある新聞の川柳欄で昨年、58万句の投稿の中から年間大賞に選ばれた句です。古希を迎えた作者は「光り輝く17歳も、高齢者も、日々の経験は一度だけ」と作句の意図を語っています。本号1面で紹介した青葉琢也さんも喜寿を前に「元気出さなきゃ」と前向きです。光あふれる春、初経験の毎日を楽しみたいですね。(野崎)